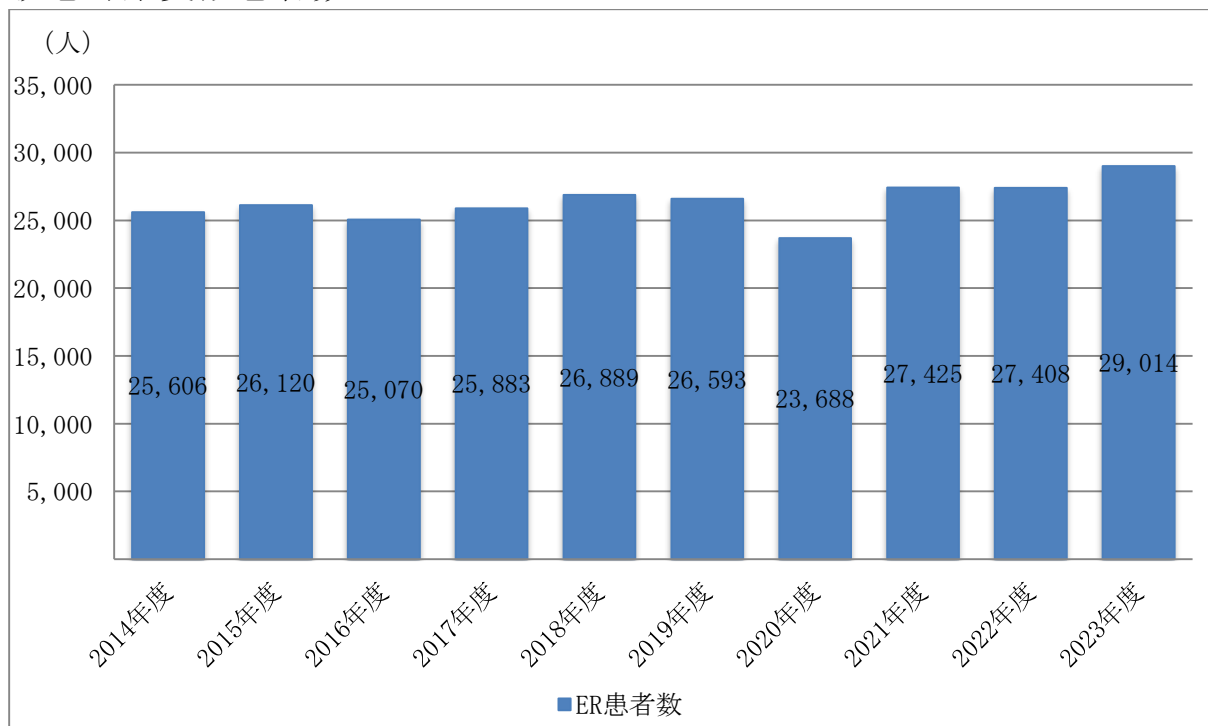


救急外来受診患者数



救急外来を受診する患者は、救急車を利用する場合と直接来院される walk in に分かれる。

2010年4月より救命救急センターが総合救命救急センターとなり、NCU,CCU,GICUの病棟部門だけでなく、24時間体制の外来部門ERを加え救急体制を強化した。また、2011年度より救命ICU病棟を開設し、より多くの重症救急患者を受け入れる体制を整備し、2013年4月からは、救急隊からの要請に対し当院の医師と看護師がいち早く現場に駆け付け治療を行うドクターカーの運用を開始した。2015年5月のA棟開棟に伴い、更なる機能の拡充のため各ユニットを1フロアに集約し、重症外傷患者に特化した災害外傷センターを開設した。また、これまでの3次救急医療機関としての実績が評価され、2021年4月、高度救命救急センターの指定を受けた。

救急外来では直近10年の平均では約26,000人の患者が受診している。これは軽症・重症に関わらず、いかなる患者もお断りしない対策を講じていることが要因として考えられる。今後も継続して他医療機関との病診連携、病病連携の強化、救急隊との更なる連携強化が必要である。

データ提供 医療事務室救命管理課